



Nagoya GRAMPUS

名古屋グランパス ワイズメンズ クラブ

NAGOYA YMCA 1-2-7 HARUOKA CHIKUSAKU NAGOYA 464-0848 JAPAN

- 国際会長主題 「VALUES, EXTENSION and LEADERSHIP」
 価値観、エクステンション、リーダーシップ
- アジア太平洋地域主題 「変化をもたらそう」 Make a difference
- 西日本区理事主題 「“Let's do it now!”」 “2022 に向け誇りを持って All is Well.”
- 中部部長主題 「知らせよう ワイズの奉仕活動を」
- クラブ会長主題 「コロナ渦の中・新しい YMCA サポート模索し実行」

がんばれ日本 がんばるワイズ

2021年6月

<今月の聖句>

今の時の苦難は、やがて私たちに啓示される栄光に比べれば、取るに足りない
 と私は考えます。

ローマ人への手紙 8章 18節

クラブホームページ <http://www.ys-chubu.jp/main/gburiten/grampus2020-2021.pdf>

2021年6月例会・他ご案内

@6月第1例会・WEB例会

(担当 服部・荒川)

と き：6月11日 (金) 19:00～

ところ：ZOOM配信

・引継ぎ例会

@7月第一例会・一泊例会 (担当 服部)

と き：7月3日(土)～4日(日)

ところ：詳細は後日案内

@6月第2例会・WEB例会(担当 坂口)

と き：6月15日 (火) 20:00～

ところ：ZOOM例会

@第24回西日本区大会

と き：6月5日(土)～6日(日)

5日大会1日目 13:00～

6日大会2日目 10:00～

ところ：ウエスティン都ホテル

西館 3階・4階

5月例会	例 会 出 席 状 況				B Fポイント		クラブファンド(月)	
	在 席 者	15名	第 1 例 会	15名	当 月・切 手	-	ニコBOXノート	-
	例会出席者	23名	第 2 例 会	11名	当 月・現 金	-	感 謝 ファンド	-
	当月出席率	153%	そ の 他	8名	累 計	-	累 計	-

“TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT”
 =強い義務感を持つ。義務はすべての権利に伴う



日時：5月18日（金）18:30～
 場所：名古屋YMCA日本語学院
 出席者：青木、阿部、荒川、遠藤、坂口、信田、
 下村、高田、服部、原+妹、早川、坂野、
 松原、三井、吉田
 ゲスト：中村、川本、相馬、その他、リーダー多数



卓話

「セカンドハーベスト名古屋の活動について」

認定特定非営利活動法人

セカンドハーベスト名古屋 前川行弘理事長

吉田一誠

昨年2月の日本語学院の留学生さんとの交流会
 “日本のお正月料理を食べよう”は大変好評でした。この様な交流をぜひ続けていきたいということで準備を進めていた、ピクニック、BBQなどもその後の新型コロナ禍の影響で、実施困難となりました。その後は、日本語学園への新型コロナ対策用物品の提供、留学生への年越しそば配布などをクラブとしてはしてきました。新型コロナの影響で日本語学院の留学生は来日が困難となり生徒数が激減、経営的にも苦しい状況に直面していますが、少ない人数ながら海外留学生がスタッフとともに毎日勉強に頑張っています。そんな中で、フードバンク活動をになっておられる団体の一つセカンドハーベスト名古屋さんにお話をさせていただけることになりました。

セカンドハーベスト名古屋さんからはすでに昨年末から日本語学院留学生支援のために、食料品（レ

トルト食品、冷凍食品、パン、お菓子、果物など）の支援をいただいています。昨年の夏には、学童キャンプへの支援もいただいています。フードロスの問題は以前から言われていましたが、新型コロナ禍の影響で毎日の食事もままならないという人々が急増、最近特に関心の高まっている社会問題です。

今、関心を持っていただけるかたの多いテーマですのでぜひ多くの皆さんに聞いていただきたいと思います。オンライン交流会という形で計画しました。

1. 活動の背景：食品ロスと貧困問題

食品ロス問題

- ・世界で年間13億トン
1/3の食品がまだ食べられるのに捨てられている
- ・日本の食品ロス：
612万トン/年
事業系 328万トン
 家庭系 284万トン
 (2017年推計値)
 国民1人1日当たり
 ごはん平均1杯分 (139g)

貧困問題

- ・絶対的貧困 (1.9ドル以下/日)
世界に8億人
- ・日本の相対的貧困率
15.6%(2015年)
一ひとり親世帯：50.8%
- ・見えない貧困



フードバンク活動！日本では賞味期限の近接や容器の不良等いろいろな理由によりまだ食べられるにもかかわらず大量の食品が廃棄されています。その一方で突然のけがや病気で働けなくなったかたや、地域で孤立し生活の困っている方など明日の食事を心配しなければならない方もたくさんおられます。この捨てられる運命の食品を企業、個人からの寄付により集め、福祉施設、団体や生活に困った個人へ提供する絆を結ぶのがフードバンク活動です。

昨今のコロナ禍の影響でこの様な活動の重要性が一層高まっています。前川さんのお話を伺って、毎日大量に廃棄されている食品に対してもっと私たちが関心を持つことが重要なことを改めて感じました。今回は事前のPR不足もあり、聴講者が22名とあまり多くのかたに聞いていただくことができませんでしたが、少なからず今までとは違った反応もありました。これを励みにこれからも定期的に計画して交流会を続けていければと考えています。

持続可能な開発目標（SDGs）の課題としては貧困、飢餓をなくそうということが一番最初にあげら

れていますが、食品ロス削減はこれらへの対策の有効な対策の一つです。今後の交流会のテーマとしてこのSDGsにあげられている課題を取り上げて行ってはどうかと考えています。是非皆さんからこの様なテーマに沿った話をしてくださる講師、あるいは聞いてみたい話などありましたらご連絡ください。グランパスクラブのYMCAサービス活動として継続的に実施、この交流会を発展させて名古屋YMCA日本語学院の応援、支援の輪を広げましょう。皆さんのご理解とご協力をお願いします。



参考資料：下をクリックして御覧ください
[フードバンク \(ys-chubu.jp\)](http://ys-chubu.jp)

第2例会・オンライン例会議事録

日時：5月14日（火）20:00～21:00
 出席者：早川、荒川、遠藤、信田、高田、坂野、三井、服部、吉田、松原、下村
 欠席者：坂口、青木、原、阿部

下村 明子

「内容」

- 1-1 **ワイズ関係の動き報告** 早川中部部長
- ・6月の評議会について提案議案内容1～6号議案について内容説明、(事前クラブ内配信済) 中部部内予算について説明、クラブ内での賛成を得る。
 - ・補助金支給内容について説明あり
 支給金内容(部よりZOOMシステム経費18,000円 区よりZOOM補助として14,000円)
 今後クラブ内での執行処理について検討するとする。
 - ・西日本区大会参加予定
- 1-2 **全国YMCA、名古屋YMCA報告** 遠藤
- ・6月の国際協力募金が秋に延期予定。詳細決まり次第連絡。
 - ・7月の日和田オープニングワークの手伝い案内はYMCAより追って連絡あり。
- 1-3 **5月第一例会について** 吉田
- ・認定NPO法人セカンドハーベスト名古屋の活動について
 - ・日時 5月18日（火）18時半から
 日本語学院からZOOM発信
 - ・20時には閉館。会場参加者は吉田、荒川、服

部、松原の4名。

- ・講師への謝礼として10,000円とタオルを贈答予定

1-4 リーダートレーニング報告 信田

- ・坂口、信田、三井、吉田の4名が参加。登録リーダーは25名中16名が参加。
- ・北側斜面を含め多くの木を切った。整備をしたので、景色も以前とは変わりキャンプ場らしくなっている。

1-5 日本語学院支援について 吉田

- ・現在行事ができない状態。現在通学している学生は20名ほど。
- ・チューター以外のメンバーも可能な限りコンタクトを取ってほしい。

1-6 はなの活動について 阿部

- ・阿部メン欠席のため次回。

1-7 プリテン記事依頼 三井

- ・リーダートレーニング(三井) / GW コロナ対策報告(荒川) / 第二例会議事録(三井・下村) / YMCA たより(遠藤) / 第一例会(参加者のうち誰か) 5/29までに厳守!!

日和田リーダートレーニング夕食支援

日時：5月2日（日）～5月3日（月・祝）
 出席者：リーダー16名、OBOG4名、スタッフ9名
 吉田 坂口 信田 三井



アクリル板で間隔を仕切ったの黙食での夕食

三井 秀和

暖かい日が続いた連休中日の快晴の5月2日、出かける朝に破竹を収穫してから30名以上の参加者の今年のリートレ夕食支援に参加しました。早めに現地に到着して松坂さんと共に下水槽の汚水の排水作業を手伝いました。ただ水中ポンプの下駄部分の鉄製部分が腐り役に立たず手で持ち上げながらの作業が大変なので早期の更新が必要と思います。また、キャンプ場にあるエンジンソーが30年前のビンテージ物で不動の為、自前のエンジンソーを持っていき、道沿いの雑木らの伐採整備と今まで南側の雄大な乗鞍を眺められていましたが、長年の整備不足と

長年の木の成長で枝が伸び、そのため本来の雄大な乗鞍眺望がひどく狭くなっていたため思い切って急斜面に遮っていた大口径の木をリーダーらの協力を得て足場が悪い中苦労しながら数本を根本から伐採。少し眺望の広さが戻りましたが夏の学童キャンプ参加時にはまだ切り残して視界に邪魔になっている太い木々を片っ端からチェーンソーが壊れるまで伐採しまくる予定です。



大鍋での破竹 2kg を煮込む

本来の支援プログラムである夕食支援は持ち込んだ朝取り破竹のタケノコごはん、手製ピザ、鳥肉料理らを提供、好評を得ました。



力仕事のピザ生地の練りこみ作業



「ちりめんじゃこ」と松坂さんから頂いた「行者ニンニク」を載せた手製ピザ

先日の4月24日に開場準備に行ったとき昨年末の水抜きが不完全であった為、配管とバルブが氷の膨張で破裂して水が使えない状況となってしまいましたが今回のリートレには修繕が間に合い供給には問題が

無くなりました。給水が止まっているいろいろと調べた結果、設置してある川本製作所製の供給ポンプの劣化も進み汚水用水中ポンプと共に更新が必要と総主事に提案しました。本館設立より30数年となり設備等の老朽化の為、今後各所の修理と更新がいろいろと出てくると思います。



伐採後の視野が広がった残雪深き乗鞍を望む

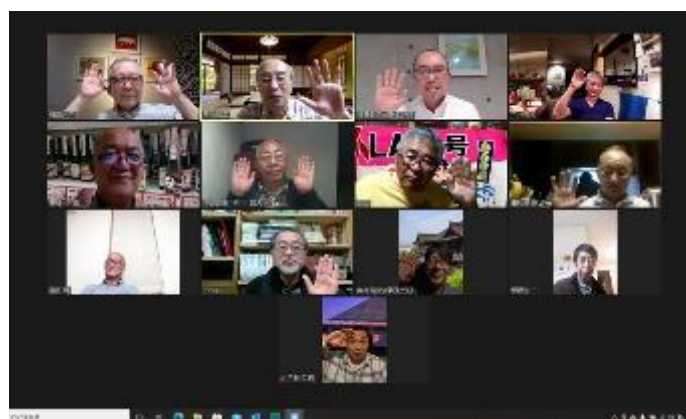
5月になったといえ前日の最低気温が-7度、2日の朝方-2度と雪もちらつくまだまだ寒さの厳しいキャンプ場でしたが例年より多くの残雪を持った御岳、乗鞍は絶景でした。

東稜クラブとの合同例会中止について

交流担当 松原行謙

京都東稜クラブとの5月23日の合同例会（バーベキュー）につきましては、先方と話し合い、感染防止、健康第一を考慮し残念ながら中止とさせていただきます。次の機会に東稜クラブのみなさんと元気にお会いできることを楽しみにしましょう。

DBC東稜クラブZOOM交流会



日時：5月22日（土）20：00～

参加者：

（東稜クラブ）大槻、三科、近藤、伊藤、奥村
（グランパス）坂口、早川、高田、荒川、三井、原、松原、服部

服部庄三

コロナ禍で今年度中止となった東稜クラブとのDBC交流会を、今回「やったつもりのDBCネット二次会」と銘打って開催しました。ZOOMにて各自お酒持ち込みOKで、おしゃべりしましょうとの

企画です。まずこの大変な状況の中、どのように活動しているかの話題に始まり、東稜クラブは集まったの奉仕活動が全く出来ていなく、ZOOMも不得意な方もみえて、全員参加の例会も出来ていないとのお話でした。グランパスはコロナ対策を十分に、名古屋YMCAの日和田キャンプ場ワークや、日本語学校の支援など出来る範囲で活動していること。また例会もZOOMで出席率も良いことなど話し合いました。また各自近況報告など約2時間にわたって楽しい時間を過ごしました。最後に次年度状況が良くなつての元気な再会を誓いあってお開きとなりました。

YMCAたより

6月からYMCAでは夏のプログラムの募集が始まります。昨年度よりも多くのファミリーや子どもたちが日和田キャンプ場で遊べるようにキャンプの準備をしております。また、今年も学童キャンプを2期間実施いたします。このキャンプを待ち遠しくしているお友だちもおります。子どもたちが、豊かな自然の中、仲間と一緒にのびのびと遊べるキャンプを目指して。今年度もぜひみなさまもお力添えをいただくと嬉しいです。

よろしく願いいたします。

2021年度学童キャンプ

- ・1期 7/26(月)～7/31(土)
- ・2期 8/2(月)～8/7(土)

国際協力募金は秋に延期になりました。



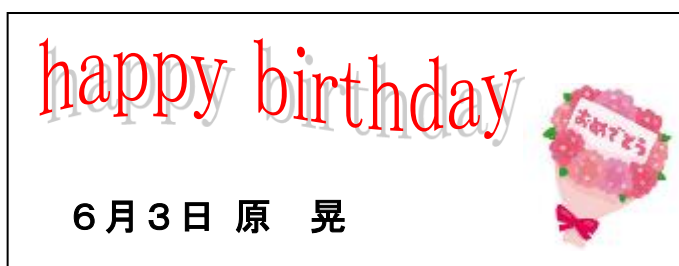
名古屋グランパスクラブ
担当連絡主事 遠藤美恵子

今後の予定

- ・7月3日(土)～4日(日)
一泊例会 (予定) 詳細は後日、案内。
- ・1期日和田学童キャンプ : 7/26～31(月～土)
- ・2期日和田学童キャンプ : 8/2～7(月～土)

その他

1. 今月の誕生日



2. 例会等出席状況

	氏名	5 / 18 第一例会・WEB例会	5 / 14 第二例会・WEB例会	5 / 2 ～3 日和田リートレ支援	/
1	青木 哲史	○			
2	阿部 一雄	○			
3	荒川 恭次	○	○		
4	遠藤恵美子	○	○	○	
5	坂口 功祐	○		○	
6	信田伊知郎	○	○	○	
7	下村 明子	○	○		
8	高田 士嗣	○	○		
9	服部 庄三	○	○		
10	早川 政人	○	○		
11	坂野 清治	○	○		
12	松原 行謙	○	○		
13	三井 秀和	○	○	○	
14	吉田 一誠	○	○	○	
15	原 晃	○			
	ゲスト	8			
	計	23	11	5	

3. 日本語学院留学生支援物資応募依頼

- 1 マスク・フェイスシールド/材質・サイズ問わず
- 2 体温計 仕様・タイプ問わず
- 3 消毒用スプレー・希釈用
 - ・エタノール製剤(35%以上含有品)、
 - ・界面活性剤成分含有製品、
 - ・次亜塩素酸水(80ppm以上品)
- 4 除菌用ウエットティッシュ
- 5 使い捨て手袋(食品衛生法適合品)
- 6 その他、留学生へ支援となるもの
- 7 インスタント麺、缶詰、乾燥品等らとその他、日持ちする食品類。
 - ・南山YMCA 遠藤担当主事へ各自持参してください

4. 第24回西日本区大会案内 チラシ

- ・詳細は「24th 西日本区大会のご案内」(添付 PDF) および下記サイトをご確認ください。
[ホーム | ワイズメンズクラブ国際協会第24回西日本区大会 \(jw-alliswell24th.com\)](http://www.jw-alliswell24th.com)
- ・大会の登録につきましては、下記の登録 WEB サイトから手続きをお願い致します。
[第24回西日本区大会 参加登録 | 株式会社ツアーポート \(tourport.co.jp\)](http://tourport.co.jp)

5. 2021 年度学童キャンプ開催日

- ・1 期日和田学童キャンプ : 7/26~31 (月~土)
- ・2 期日和田学童キャンプ : 8/2~7 (月~土)

※キッチンスタッフ・プログラムサポートできる方は、参加できる日程を遠藤さんにお知らせ下さい。

注：ボランティアの前に・・・

- ・ボランティア開始 2 週間前から体調の管理、感染リスクの高い場所へ行くことを控えてください。
- ・当日ご自身の体調が悪い場合、ご家族に体調不良の方がいる場合は参加をお控えください。

—番外編—

もしも新型コロナに襲われたら

荒川恭次

楽しみにしていた日和田リートレ支援を止む無く欠席したのは、新型コロナに立ち向かっていたからです。会社の 20 代の若い社員が新型コロナ感染判定で、濃厚接触者 1 名を含めて隔離療養休暇となりました。事務所から初めての感染者が出たことで右往左往となるのですが、運よくゴールデンウィークに入ったばかりで出勤社員はほとんどなく、非常時マニュアル通りフロアを閉鎖しての消毒作業に入ることができました。



まずはフロアの窓を全て開けて換気開始。次に非常時用グッズの防護服を着てゴーグル装着、手袋はめてふき取り不要強力消毒液を感染者のデスクを中

心に噴霧作業が始まりました。因みに防護服の作業者は高齢の私ではなく、健康で元気な若者です。



消毒作業は事務所フロアに続きロッカールーム、トイレと感染者の動線全体に及び念入りに行われました。その後は一抹の不安はあったものの何事もなく通常業務が続いています。消毒の効果は大いにあったものと思われます。さて、感染者と濃厚接触者の 2 名は療養期間を終えて、今では普通に勤務しています。直接聞いてみると、自覚症状としては「味がしなくなった」だけで熱もなくだるさもなかったそうです。当初は単身者の自宅隔離で食事を心配しましたが、毎日きちんと 3 食配給があったとのことで、地域の手厚い看護体制が何われました。濃厚接触者の 1 名は当然のことながら何事もなく隔離期間を終えたとのことです。事後のハラスメントの心配も全くなく 2 人は完全復帰することができました。

その後フロアは違いますが、家族が感染者となり濃厚接触者認定となった者がいますが、即テレワークに切り替えて隔離期間に入りました。業務への支障が最小限となるよう対応ができるようになったようです。

そして私は、第 1 回目のワクチンを接種してきました。6 月 20 日の第二回目で一安心と行きたいところですが、若者も早くワクチン接種し日本全体で安心を共有したいものです。この先 10 年後にブリテンインデックスでこの記事を読んだ方は、歴史の一端を感じるかな？と思います。

2021 年 5 月 30 日



ワクチン接種会場の小学校体育館 (高齢者枠)